

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2007～2008年度 国際ロータリー ウィルフレッドJ.ウィルキンソン会長テーマ

ROTARY SHARES ロータリーは分かちあいの心

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 橋本 恭典
幹事 鈴木 文三郎
会報委員長 酒部 正博

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2583回例会プログラム

[当年度=25回目；当月=4週目]

2008年（平成20年）2月25日（月）

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱
……………日も風も星も
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 幹事報告
9. 出席報告
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(3/5)……西三河分区インターシティ ミーティング(IM)
14:00～リリオコンサートホール・
知立セントピアホテル
※3月3日(月)の例会変更分です。
(3/10)……創立記念例会
「創立55周年に向けて」
- 13:00 13. 本日のプログラム
卓話 「私の出会った仏たち」
講師 社会福祉法人 ひかりの家
名誉園長 伊藤 寿美^{すみえ} 様
(紹介者 嶋津 孝久 会員)
14. 謝辞
15. 点鐘……〈会長〉
16. 閉会宣言

13:30 17. 散会

ゲ ス ト

加藤 知成 様（東知多 RC）

出 席

会員総数 95名 出席免除 19名
出席義務者+免除者の内例会出席者 88名
欠席 15名 出席率 82.95%
前々回（2/4）の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 入院されていた羽田育哉会員が、本日から元気に例会に復帰されています。
- 2) 去る2月18日に刈谷市キャリア・スタート・ウィーク実行委員会が開催され、加藤真治新世代委員長に出席して頂きました。

幹 事 報 告

- 1) 来週3月5日は西三河分区インターシティ・ミーティングです。リリオホールでの受付は幹事が一括して行いますので、皆様は知立セントピアホテル3階の友愛の広場へ直接お越し下さい。午後1時45分にオープニング・イベントが開始されますので、間に合う様にお願致します。
- 2) 本日例会終了後、第9回理事会を開催いたします。関係の方々にはよろしくお願致します。

委 員 会 報 告

●新世代委員会

2月23日、24日、第16回ライラセミナーに、太田達彦さん、嶋津就久さんと私の3名が参加して来ました。太田君の言葉によれば、期待を上回るセミナーだったそうです。

橋本 恭典



昨晚まで出張しておりました。摩周湖と網走の間にお客様の工場がありますので、そちらで仕事を済ませた後、ついでに流水見学でもして今日の話題にしようと考えておりました。北海道には行ったのですが、お客様の工場には今回の低気圧の影響

で、交通機関がマヒしお邪魔することができませんでした。流水は水に流してほかの話題をと思っておりましたが、去年2月10日にも行っており、その時に見た流水をきょうの話題にすり替えてお話し申し上げますのでご容赦願います。

流水はその言葉どおり行ってみないとあるのかどうか分からない、1日であつという間に変化します。昨日まであたり一面にあったとしても、今日は分からないという位気まぐれらしいです。

前の日までは来ていなかった流水が、我々の行った日には辺り一面水の海でした。地球温暖化の影響で今後流水が見られなくなるかも、との思いで網走の流水観光船乗り場に行ってみました。すでにパッケージツアーの観光バスが20台ほども止まっていて、次の船に乗れるのか心配しておりましたが、ラッキーなことに20分後に出る船の切符を大枚3,000円はたいて手に入れることができました。491トン450人乗りのオーロラ号です。

出港してしばらくは、テープによる心地よい女性の一通りの説明、流水の原点、でき方、1000kmも流れて来ること、天敵の少ない流水に乗って子育てするアザラシや大鷲、オジロ鷲なども流水に乗ってシベリアから来るとのこと、そういうものがラッキーな乗客には見ることができるとの等々の説明。

その後乗組員の男性の実況放送が始まり、右前方200mのところには鷲がいるとの案内に、たまたま右舷前方に座っていた私にも遠くに鳥らしきものが見えました。船がどんどん近づいて行きますと2羽いて1羽が大鷲、もう1羽がオジロ鷲との説明です。近寄ってもほとんど逃げません。あたかも流水観光船会社が飼っていて、船が近づいたら芸をせよと仕込んであるような動作で、5-6m飛んで羽ばたきその勇姿をお客に見せてくれ、流水の上に着水、また少し飛んでは水の上に、自分たちのポジションを変えようとしません。そうしている間に船のほうが先に進んで行きます。結局鷲はほとんど場所の移動がないようでした。

水はそれほど厚みのあるようには見えませんが、ぶつかればそれなりのショックとドーン、ギシギシという氷を割る音など、いかにも砕氷船に乗っている雰囲気を楽しみ、船の中は興奮した乗客が誰彼となく語りあい、非常にフレンドリーな雰囲気となり、1時間位の航海で冷たい流水が人間の心を温かくしてくれる威力を感じました。

先週お話ししたラトビアは北緯58度。網走は北緯44度

で、モナコなどの地中海沿岸の保養地と同緯度なのですが、北半球で最も南、赤道に近いところで流水が見られる場所なのです。これは中国名黒竜江、ロシア名アムール川の真水がシベリア大陸、カムチャッカ半島と千島列島、北海道それにサハリンを堤防にして囲まれた湖のようなオホーツク海に大量に流れ込んで、塩分の低くなった海水が凍ってできるという、オホーツク海とアムール川があつてできる自然現象です。

オホーツク海の表面50m位は塩分が極端に少なく、そこだけで対流し凍るとパンフレットにありました。最大でオホーツク海の8割が凍り、この大きさは北海道の15倍です。これからは流水は勿論のこと、北極海の氷も溶けてしまうそうですので、中部空港から安いもので3万円からあるオホーツク流水観光ツアーに是非どうぞ。今日も観光案内になってしまいましたが、悪しからず。

卓 話

「ひかりの家」の概要説明

社会福祉法人ひかりの家 常務理事
大南 友幸 様



石原鈞さんのご縁もありまして卓話にお呼び頂き、ありがとうございます。また、毎年バザーを行っておりますが、その際にも刈谷ロータリークラブの皆さんには大変ご協力頂いております。感謝しております。

私どもの沿革についてですが、昭和40年、当時刈谷保健所の保健婦であった伊藤名誉園長が「刈谷地区心身障害児を守る会」を設立しました。48年には旧「ひかりの家」を、58年には現在の「ひかりの家」を創り、現在に至っています。

平成14年には社会福祉法人格を取り、一層事業に励んでいます。並行して刈谷市の心身障害児を守る会としても活動しており、現在1900名の会員さんに協力頂いております。

その後、平成18年に「ひかりワークス風鈴」を創りまして、18歳以上の身体の不自由な人たち、知的障害を持った人たちなど、一般就労や社会参加が難しい人たちの支援をしています。

今、授産作業でクッキーを作っています。バレンタインデーのお返しということで、ホワイトデーでお困りの方は、ぜひお買い求め頂ければと思います。

今後も、刈谷の地で障害者の福祉のために働いていきたいと考えています。具体的には、ケアホーム事業や生活介護事業の新設、廃油処理事業(てんぷら油からディーゼルエンジンの燃料を生産)、学童のデイサービス、その他、相談支援事業や、地域の皆さんのご理解ご支援を頂けるような活動をしていきたいと考えています。

「私の出会った仏たち」

社会福祉法人ひかりの家 名誉園長
伊藤 寿美奈 様



貴重な時間を頂きありがとうございます。また、美味しいお昼ご飯をありがとうございました。

「ひかりの家」には、1度も口からご飯を通したことが無い子がいるんです。ですから、私は80有余年も美味しいご馳走を、たまには文句も

言いながら頂いてきたことに本当に感謝しています。

ロータリークラブに呼んで頂くのは2回目ですが、普段から大変お世話になっている横山宜幸さんからどうしても頼まれ、恥をしのいで参りました。

横山さんは、10年くらい前、青年会議所のバザーの荷物を「ひかりの家」に運んで来てくださった折、施設にいた女の子をすっと抱かれたんです。その時の彼女の良い顔といったら。彼女はここに何年も通って来ているのに、今までこんな良い顔をしたことがないなあと思って。それからというもの、横山さんには本当にお世話になっております。

横山さんだけでなく、刈谷ロータリークラブの皆さんには大変お世話になっております。二村医院の野村さんには、どこの歯医者さんもやっていない頃から、無料で子供たちの歯を診に来て頂いたり、石原さんには無料で汲み取りをして頂いたり。一つ一つあげたらきりが無いくらいお世話になりっ放しです。

私が最初に障害児と出会ったのは、出身地の設楽の山の中でした。松葉杖をついて学校に行けない子や、運動もできない脳性まひの子との出会いがありました。

30歳を過ぎて、こんな人生ではいけないということで、昭和33年、愛知県の保健婦学校に通って勉強しました。国家試験は合格したものの自分の希望する働き先がなく、たまたま欠員のあった刈谷市に参りました。

昭和39年に愛知県からお話があり、刈谷、碧南、知立、高浜と、障害児の調査をしました。そうしたら、ほったらかされたり、物置に入れられている子供がたくさんいました。せっかく生まれたんだから楽しい思いもしなくてはいけない、ということで、その子たちを外に出すための運動をしようと一日保育を始めました。その時には、刈谷ロータリークラブやライオンズクラブの皆さんにいろいろ手伝って頂きました。

そして、昭和40年に、16人の仲間で「刈谷地区心身障害児を守る会」を始めました。多い時には2500人もいた会員は、40年も経って段々と少なくなりましたが、全国をみても、これほどの会員から援助されている会はどこにもありません。

これからも私は、子供たちが「刈谷に生まれて良かったね」と言えるようにしたいのです。私は、親や兄弟に捨てられ、社会にも捨てられるような子供を二度と作りたくないのです。地域で、みんなで暮らしたいのです。

大きな施設は建てられなくても、小さいところで近所の人みんなに覗いて頂いて、「今日も元気だね」と声をか

けて頂ける、そんな街づくりをしたいと思っています。

ですから、障害児だけを集めるのではなく、おじいちゃんやおばあちゃんがいる、みんながそこで楽しく暮らせる楽園を創りたいと思っています。そんな楽園を創るためにこれからも頑張りますので、どうか皆様のご支援をよろしくお願い致します。

第9回理事会

I 会長挨拶 〈会長〉

II 議題

1. 3・4月のプログラム(案)について
〈クラブ奉仕委員長〉
〈プログラム委員長〉
2. 高浜 RC との合同例会について
〈プログラム委員長〉
3. 花見家族例会について 〈幹事〉
4. スペシャル オリンピックス (SO) について
〈社会奉仕委員長〉
5. 刈谷音楽協会主催事業の第4回刈谷音楽祭後援名義について 〈社会奉仕委員長〉
6. 椅子の張替えについて 〈幹事〉
7. その他